

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
上辺見地区

平成24年8月

茨城県古河市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	満足度 (住みやすさ、暮らしやすさ)	%	18	25	40	確定 見込み ●	○	あり なし	27	H24年8月	○	事業完了前時点の期待値として評価値を算定したため ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	一定の都市基盤整備により、地区の生活利便性が向上し、住民の住みやすさや暮らしやすさの満足度を向上させることができた。
指標2	宅地率	%	34	39	37.1	確定 見込み ●	△	あり なし ●	37.7	H24年8月	△	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	近年の社会経済情勢低迷等の影響により、目標値を達成できなかったが、狭隘道路等の都市基盤整備により、一定の宅地化誘導を図ることができた。
指標3	狭隘道路率 (幅員4m未満の道路率)	%	67	40	27	確定 見込み ●	○	あり なし	28	H24年8月	○	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	狭隘道路整備により、地区内の狭隘道路率の低減を図り、住民生活に最も身近な生活道路環境の向上を図ることができた。
指標4	下水道整備率	%	87	100	100	確定 見込み ●	○	あり なし	100	H24年8月	○	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	下水道整備により、地区内の生活環境や公衆衛生の向上を図ることができた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	人口増加率	%	99	/	102	確定 見込み ●	/	/	102	H24年8月	/	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地区内人口が増加傾向に転じたことから、一定の都市基盤整備による住宅地としての魅力が向上し、一定の宅地化誘導を図ることができた。
その他の数値指標2	/	/	/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	/
その他の数値指標3	/	/	/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	/

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	道路の利便性・安全性の恒常的な確保	道路の安全性を確認するため、まちづくり検討委員会を開催し、地元と協議した。協議の結果危険だと判断された箇所については、自発光道路標等を敷設し、安全性の向上を図った。	周辺地域の道路の安全性が向上した。	今後も地元からの意見・要望等を検討し、適切な処置を図っていく必要がある。
	安全な生活環境(防火)の維持	実施していない。		下水道等補修事業を想定しているが、現在のところ喫緊に行う必要性がない。今後適宜維持補修の必要性や地元要望の高まりを受けて行っていく必要がある。
	安全な生活環境(雨水)の維持	実施していない。		・排水溝等補修事業を想定しているが、現在のところ喫緊に行う必要性がない。今後適宜維持補修の必要性や地元要望の高まりを受けて行っていく必要がある。 ・排水性舗装を行った箇所については、一定期間経過後の事後調査を検討していく。
	魅力ある住宅地環境の確保	実施していない。		まちなみ環境等のルール策定については、今後の検討課題である。
	コミュニティ、避難場所の機能の保全	実施していない。		・公園施設等補修事業等を想定しているが、現在のところ喫緊に行う必要性がない。今後適宜維持補修の必要性や地元要望の高まりを受けて行っていく必要がある。 ・地元主導による管理体制の構築などが今後の検討課題である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	安全な市街地形成への推進	狭隘道路の整備や道路照明施設の設置を実施した。	・緊急車両等の進入が困難だった従前の状況が改善され、狭隘道路の解消が図られた。 ・夜間時の安全性が向上した。	今後も、より安全な市街地形成を目指し、狭隘道路の解消や道路照明の設置を図っていく必要がある。
	宅地化の推進	実施していない。		まちなみ環境等のルール策定については、今後の検討課題である。
	コミュニティの形成	実施していない。		公園施設の管理等、地元住民を主体としたワークショップ等の活動の後方支援等を今後検討していく必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項